

GRIT 西葛西中 Times

(GRITの意味:「頑張り抜く」) 2026/7/1 発行者: 校長 小野 隆一

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。1学期も締めくくりを迎え、生徒たちは様々な場面で素晴らしい成長を見せてくれました。

その大きな原動力となったのが、5月に実施した運動会です。伝統継承週間で培った本校の生活の基本である「あじみこし(挨拶、時間、身だしなみ、言葉遣い・心遣い・公共物、姿勢)」の意識をベースに、運動会という大きな行事を経て、生徒一人ひとりの心に自覚ましい変化が生まれました。日々の生き生きとした様子は学校ホームページで毎日更新しておりますが、今月号では、それらの日常を支える「1学期の成果と課題」および「今年度の学校経営の進捗」について保護者、地域の皆様に報告いたします。

1学期の【成果】～「自主協働」の精神が生み出す、確かな成長～

■ 生徒の振り返り作文に見る「心の変容」

「一人ひとりが責任を持って、全員が動いて、応援して、アドバイスし合えたからこそ大成功できた。結果ではなく、どれだけやったかが大切だと思った」

「みんなで声をかけ合いながら競技に臨み、他と比べるとはるかにこのクラスで良かったと思えるようになった」

■ 毎日の授業観察から見える、日常への広がり



チャイムと同時に始まる授業:
生徒一人ひとりが「授業を大切に」意識を持ち、時間を守って主体的に席についています。



授業に関係のない私語のない空間:
誰もが安心して学べるよう、お互いに集中する雰囲気(規律)を作り出しています。



活発な意見交換と「教え合い」:
分からないことを素直な顔に聞き合い、仲間の意見を尊重しながら深め合う、温かい関わり合い(笑顔と活気)が日常となっています。

教職員の視点

毎日教室を見つめているからこそ、生徒たちが規律と安心感をベースに、主体的に学び合っている確かな手応え(成果)を感じています。

1 生徒の振り返り作文に見る「心の変容」

運動会後の生徒たちの振り返りには、本校が目指す教育の成果が生き生きと綴られていました。

・体育委員（運動会実行委員）として朝早くからの準備や裏方の重責を経験した生徒の、「一人ひとりが責任をもって、全員が動いて、応援して、アドバイスし合えたからこそ大成功できた。結果だけでなく、どれだけやったかが大切だと考えた」という、強い責任感と真の主体性への気づき。

・学年種目の練習で壁にぶつかりながらも、「みんなで声をかけ合いながら競技に臨み、他と比べるのではなく、素直にこのクラスで良かったと思えるようになった」という仲間への信頼と深い安心感。

2 毎日の授業の様子から見える、日常への広がり

校長・副校長も日々教室へ足を運び、授業を見ています。嬉しく思うのは、運動会で培われたこの「自主協働」の精神が、特別な行事の時だけでなく、毎日の「授業」の中に確実に根づいていることです。

・チャイムと同時に始まる授業・・・生徒一人ひとりが「授業を大切にする意識をもち、時間を守って主体的に席についています。

・私語のない空間・・・誰もが安心して学べるよう、お互いに集中する雰囲気（規律）を作り出しています。

・活発な意見交換と教え合い・・・分からないことを素直に聞き合い、仲間の意見を尊重しながら深め合う、温かい関わり合い（笑顔と活気）が日常となっています。

毎日教室を見つめることを通して、生徒たちが規律と安心感をベースに、主体的に学び合っている確かな手応え（成果）を感じています。

3 本校の【課題と対策】 ～誰もが安心して過ごせる学校へ～

生徒たちがこれほど素晴らしい姿を見せてくれるからこそ、学校としては「誰一人として置き去りにしない、誰もが安心して自分を発揮できる環境」を保障したと考えています。昨年度の課題を踏まえ、この1学期に動いてきた進捗をご報告します。

(1) 不登校対応：早期発見と「多様な居場所」の確保

登校に不安を抱える生徒への支援は、本校の継続的な重要課題です。この1学期は、日々の観察に基づく初期段階での迅速な家庭連携を徹底するとともに、校内においては、教室に入りづらい生徒が安心して過ごせる「エンカレッジルームや相談室等の環境整備」を進めてきました。

さらに、支援の視点を校外にも向け、私自身も、生徒たちが通う「共育プラザ葛西」などの校外の居場所へ実際に訪問し、そこで過ごす生徒たちの様子や学習の在り方を直接見てまいりました。どの環境であっても、生徒たちがそれぞれのペースで一步步進んでいる実態を捉え、一人ひとりの歩みに合わせた支援を行うため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家ともさらに密に連携し、2学期以降も組織的なサポートを強化してまいります。

(2) いじめ対応：6月ふれあい月間アンケート結果と具体的対応

6月の「ふれあい月間」に実施した一斉のいじめアンケートにおいて、軽微なトラブルや「嫌な気持ちになった」という記述を含め、いくつか気になるサインを認知しました。毎日の授業観察での気づきと合わせて、学校ではこれらを決して見過ごさず、即座に以下の対応を行ってまいります。

👉 全件への丁寧な聞き取り：担任や学年主任、相談員が個別に対話を行い、背景にある事実や生徒の思いを正確に把握しました。

👉 組織的な指導・見守り：相手を傷つける言動に対しては毅然とした指導を行うとともに、関係する生徒双方が安心して過ごせるよう、休み時間の見守りや座席配置の配慮などを行っています。

👉 ^{かてい れんけい じょうきょう おう すみ ほ ごしゃ みなさま じょうきょう きょうゆう} ご家庭と連携：状況に応じて速やかに保護者の皆様へ状況を共有し、
^{きょうりょく みまも たいせい ととの}協力して見守る体制を整えました。

^{げんざい} 現在、すべての事案に対して必要な手を打ち、^{けいかかんさつ すす}経過観察を進めています。今後
^{そうきはっけん そうきたいおう てっせい ゆる いっかん しせい のぞ}も早期発見・早期対応を徹底し、いじめを許さない一貫した姿勢で臨みます。

4 ^{ゆう いぎ なつやす むか} 有意義な夏休みを迎えるために（家庭での見守りのお願い）

^{まもなく} 約40日間の夏休みが始まります。1学期に学校で培った「自主
^{きょうどう せいか かてい ちいき はつき ひとまわ おお せいちょう}協働」の成果をご家庭や地域でも発揮し、さらに一回り大きく成長してほし
^{ねが}いと願っています。

・^{きそくただ せいかつ けいぞく はやね はやお あさ いしき せいかつ}規則正しい生活の継続：「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、生活リズム
^{くず}を崩さないようにしましょう。

・^{じょうほう とう じゆう じかん ふ ぶん きけんせい}情報モラル（SNS等）：自由な時間が増える分、ネットトラブルの危険性が
^{たか}高まります。利用ルールやマナーについて、ご家庭で再度話し合ってみてくだ
^{さい}さい。

・^{へんか き そうだん がっこう はな きかん ひとり なや かか こ}変化への気づきと相談：学校を離れる期間だからこそ、一人で悩みを抱え込
^{んでしまう}生徒もいます。お子様の様子に少しでも変化や不安が見られた
^{ばあい なつやす ちゅう えんりょ がっこう せんもん そうだんまどぐち れんらく}場合は、夏休み中であっても遠慮なく学校、または専門の相談窓口へご連絡
^{ください}ください。

日	曜	学校行事
1	水	
2	木	避難訓練、放課後図書室開放
3	金	3年修学旅行保護者説明会
6	月	三者面談 学年補習教室
7	火	学年補習教室
8	水	
9	木	学年補習教室
10	金	学年補習教室
13	月	学年補習教室
14	火	学年補習教室
15	水	
16	木	給食終
17	金	1学期終業式
18	土	科学教育センター
20	月	同窓会令和7年度卒業生歓迎会
21	火	夏季休業始 2年前日指導
22	水	2年林間学校
23	木	
24	金	
27	月	EDOスタ（10：00～12：00）
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	